

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 7 年 4 月 28 日
②法人・団体名	KADOMA 中学生勉強会		
③団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	〒571-0030 大阪府門真市末広町 29-1 市民文化会館ルミエールホール		
④責任者氏名	八上 真也	(役職名等)	代表
⑤担当者氏名	八上 真也	(役職名等)	代表

【奨学活動の概要】					
⑥助成交付決定番号	R06-006	⑦助成金額	50 万円	⑧申請カテゴリー	B
⑨奨学活動名	すべての子どもたちが学べる「居場所」を！				
⑩主な実施場所名・ 及びその住所	門真市民文化会館ルミエールホール 〒571-0030 大阪府門真市末広町 29-1				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

活動内容：・経済的理由等で塾に通えない生徒への学習指導（大学生 1 名に生徒 1 名～2 名の個別指導）
・進学モチベーションの向上や第 3 の居場所を目的としたイベント行事の開催

活動期間：令和 6 年 5 月 29 日～令和 7 年 3 月 19 日

対象生徒：26 名 中学 1 年生～3 年生（市立はすはな中学校・市立第 3 中学校・市立第 2 中学校）

□経済的事情により塾に通えていない生徒 □学校の学習についていけない生徒

□様々な体験機会の少ない生徒

開催場所：門真市民文化会館ルミエールホール研修室・会議室（京阪古川橋駅から徒歩 5 分程度）

開催回数：全 58 回 毎週水曜日：40 回（19：00～20：30）

隔週土曜日：18 回（10：30～17：00 ※ 9 月開講・中 3 生のみ対象）

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A：人)	平均時間 (B：時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	1,310	2.5h	3,275	水曜日（19:00～20:30）× 40 回（26 人） 土曜日（10:30～17:00）× 18 回（15 人）
高校生等	160	1.5h	240	水曜日（19:00～20:30）× 40 回（4 人）
学習支援員等	708	2.5h	1,770	水曜日（19:00～20:30）× 40 回（15 人） 土曜日（14:00～17:00）× 18 回（6 人）
その他	58	8.5h	493	代表（活動日すべて参加）2.5h/回 活動日外業務（財務・保護者対応・資料作成等）6h/週
合 計			5,778	

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：

法人・団体名：KADOMA 中学生勉強会

作成者 氏名：八上 真也

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

KADOMA 中学生勉強会では、活動拠点である門真市の子どものための取り巻く課題等（※以下の参考資料参照）を踏まえ、団体として 3 つの方針を掲げ、令和 6 年度の活動を実施した。

1) ロールモデルの提供、2) 第 3 の居場所提供、3) 学習の場（学習指導）提供

※参考資料

KADOMA 中学生勉強会 ～課題への対応～

(1) 経済的に厳しい家庭の子ども達が学校外での学習指導を受けられる環境が必要

・子どもの貧困の指標となる就学援助認定率は全国平均の倍以上となっており、門真市の子どもたちの約 3 割が子どもの貧困状況にある
・家計が赤字である割合は 3 割を超えており、多くの子どもたちが学習塾に通うことができない状況にある

(3) 学習に特化したサポートではなく、学力下位層や不登校生徒にとって「居場所」となる支援が必要

・全国、大阪府平均を大きく下回る学力レベルを推移しており、一部改善傾向にあるものの依然として府内最低水準の学力レベル
・市内中学校生徒の不登校率は全国平均を大きく上回っており、クラスで 3 名が不登校の状況にある

◆学習指導の場の提供

大学生から教えてもらい、「どうせ無理」と思っている生徒たちがやればできるということに気づける場をつくる。



- 無料で参加可能(申込制)
- マンツーマンで丁寧に指導(講師名、生徒 1～2 名)
- 教材・参考書の提供
- 模擬試験(無料)の実施
- 進路説明会の開催

◆第 3 の「居場所」提供

一般的な「塾」ではなく、大学見学やクリスマス会、遠足などのイベント行事を通して、生徒たちがホッとできる場所をつくる。



- 学習を強制しない
- 生徒の主体性を重視(カリキュラムや時間なし)
- 体験機会の提供
- 生徒同士の交流機会
- 中学校卒業後も利用可

KADOMA 中学生勉強会 ～課題への対応～

(2) ロールモデルである大学生と身近に出会うことができる環境が必要

・保護者の大学進学が府平均を大きく下回っている影響もあり、大学への進学を希望している生徒の割合は府平均よりポイント低い
・市内北摂地域に大学が集中しており、門真市は大学がなく、門真市の子どもたちは大学や大学生のイメージを持つ機会が少ない

◆ロールモデルの提供

地域に少ない大学進学者と交流する機会を設けることで、生徒たちが多様な価値観や選択肢と出会う場をつくる。



- 市内各地の大学から参加(参加者推移は右のグラフ)
- 毎回 15 名程度の大学生が参加
- 大学生がマンツーマンで対応
- 大学生見学会の開催
- 大学生生活の紹介を実施



【令和 5 年度・参加大学生所属一覧】
大阪公立大学 5 名、同志社大学 3 名、京府立大学 2 名、関西学院大学 2 名、京都女子大学 2 名、近畿大学 2 名、大阪大学 2 名、京都大学、神戸大学、大阪教育大学、岡山大学、和歌山大学、立命館大学、筑波大学、関西国際大学、関西医科大学、大阪大学(各 1 名) ※ 2023 年 6 月 1 日現在

項目	具体的内容
活動内容	・ 経済的理由等で塾に通えない生徒への学習指導 (大学生ボランティア 1 名に生徒 1 名～2 名の個別指導) ・ 進学モチベーションの向上や第 3 の居場所を目的としたイベント行事の開催 ※ボードゲーム大会(7 月) 夏祭り(8 月) 遠足(10 月) 大学学園祭見学(11 月) クリスマス会(12 月) 卒所遠足(3 月) 卒所式(3 月)
活動期間	令和 6 年 5 月 29 日～令和 7 年 3 月 19 日
開催場所	門真市民文化会館ルミエールホール研修室・会議室 〒571-0030 大阪府門真市末広町 29-1
開催回数	全 58 回(勉強会・イベント行事含む) 毎週水曜日: 40 回(19:00～20:30) 隔週土曜日: 18 回(10:30～17:00 ※9 月開講、中 3 生のみ対象)
対象生徒	26 名(中 3: 15 名 中 2: 5 名 中 1: 6 名) □経済的事情により塾に通えていない生徒 □学校の学習についていけない生徒 □様々な体験機会の少ない生徒
応募生徒数	43 名応募(定員 26 名) ※申込時に家庭の経済状況(公的支援の受給状況等)や配慮事項を聞き取り 経済的状況等を総合的に判断し、生徒の参加を決定しています。
学習支援員	大学生ボランティア 31 名登録(毎回 15 名前後参加) 大阪公立大学 10 名 同志社大学 4 名、関西大学 3 名、関西学院大学 3 名、京都女子大学 2 名、近畿大学 2 名、大阪大学、大阪教育大学、和歌山大学、立命館大学、龍谷大学、関西医科大学、大阪大谷大学(各 1 名)

※参考資料：令和6年度の実施体制



KADOMA

中学生勉強会のご案内

開催 7年目!!
大学生が無料で勉強教えます!

まだと勉強できない…
 学校の勉強についていけない
 置いてけぼりなっている
 勉強が好きなだけ、
 大学生も読んでみたい

大学生有志(ボランティア)学生 30名が門のまちどなたの勉強をサポートします!
 協賛団体の法友地域の皆さま、全国の方々からの遠いご支援によりボランティアで活動しています。

5月29日(水)からスタート!!

場所:	門門市民文化会館3Fエールホール3F 研修室・会議室
時間:	19:00~20:30(毎週水曜日) ※隔週土曜日 早稲0600
費用:	無料
対象:	25歳程度 中学1年〜3年(15歳以上) 第3中・第4中・第5中に通う生徒(対象)

※申込理由：成績向上希望や自習で勉強が難しい生徒、1年生勉強開始に参加できる生徒
 ※学校の勉強が分からない、ついていけない生徒



「門眞の子どもたちのために」

門眞市の中学生を対象に大阪公立大学・関西大学などの大学生がボランティアで勉強・学習の手助けをします。(大学生 1名に中学生2名を1組)
 ※教材は各自でお持ちください(学校のもの可)

申込方法
 下記フォームにて申込みをお願いします。
 (なお、申込多数の場合は、参加希望者で決定)
 【申込受付】5月5日(木)より受付
 【抽籤発表】5月19日(日)にメールでご通知します
 ※抽籤に当選しても当日の予定や都合等により参加できず、必要に応じて、抽籤のご再抽籤をお願いいたします。(抽籤を受ける権利があります)
 【お申し込み】お申し込みいただいた場合、下記のお申し込み料を申し込みにあわせて交付させていただきますので、ぜひ申し込みの方法をお試みください。

【お申し込み料】 お申し込みいただいた場合、下記のお申し込み料を申し込みにあわせて交付させていただきますので、ぜひ申し込みの方法をお試みください。

【学生指導リーダー】
 大阪公立大学・工学部 4年 山本 康大
 大阪公立大学 教育学部 4年 大塚 雄志
 【中学生勉強会・学習部】お問合せの申込み先
 電話:050-5375-3505 (夜間・休上)

【参加費】 一般財団法人キッズライフサポートとくまープロジェクト主催の青少年法律事務所 他多数
 【後援】大阪公立大学教育推進局 門門市・門門市教育委員会(予定)
 【協力】門門市市民会館・NPO法人ベネッセ(国際読書推進事業)

- ・受入生徒 26 名（内訳：男 9 名、女 17 名）
- ・26 名のうち公的支援受給生徒は約 62%、
- ・通塾をしていない(できない)生徒 26/26 名



	中3	当選	中2	当選	中1	当選	合計	当選
はすはな	10名	7	5名	4	7名	3	22名	13
3中	6名	5	3名	1	2名	0	11名	6
2中	5名	3	1名	0	3名	2	9名	5

※応募前に当会の活動趣旨を説明した動画視聴を必須（上記 QR コード参照）としたこと及び募集チラシにおいて、「経済的理由等で通塾が難しい生徒」を明確に記載したこともあり、例年よりも応募者数が少ない結果となった。しかしながら、応募のあった 43 名から 26 名への絞り込みは、非常に難しい業務であった。

◆生徒募集にあたっての関係機関の協力

対象中学校（市立はすはな中学校・第3中学校・第2中学校）の協力を得て、全生徒に対して募集チラシを配布。また、市教育委員会を通じて校長会でも周知をいただき、学校長から担当教諭・SSWなどを介して、必要としている生徒・保護者へ直接呼びかけを行っていただいた。

さらに、市の各担当課（生活保護課、家庭児童相談所、子どもの未来応援チーム）においても、ケース家庭への訪問時や資料郵送時に周知をいただいた。

KADOMA中学生勉強会 ～生徒募集～

KADOMA 中学生勉強会のご案内

準備7年目!!
大学生が無料で勉強教えます!

まだ勉強できない...
学校の勉強についていけない...
塾に行きたくなくて、
大学生とも話してみたい...

大学生有志(ボランティア学生 30名)が門真の子どもの学力をサポートします!
活動内容は地域の皆さま、全国の方々からの遠くからのご参加によりボランティアで活動しています。

5月29日(水)からスタート!!

場所: 門真市民文化会館ミエールホール3F 研修室・会議室
時間: 19:00～20:30(毎週水曜日・日曜日) 年間60回 費用: 無料
定員: 25名程度 中学1年～3年(はすはな中・第3中・第2中に通う生徒が対象)
※申込条件: 経済的理由等で通塾が難しい生徒 1年間継続して参加できる生徒
※学校の勉強が分からない、ついていけない生徒

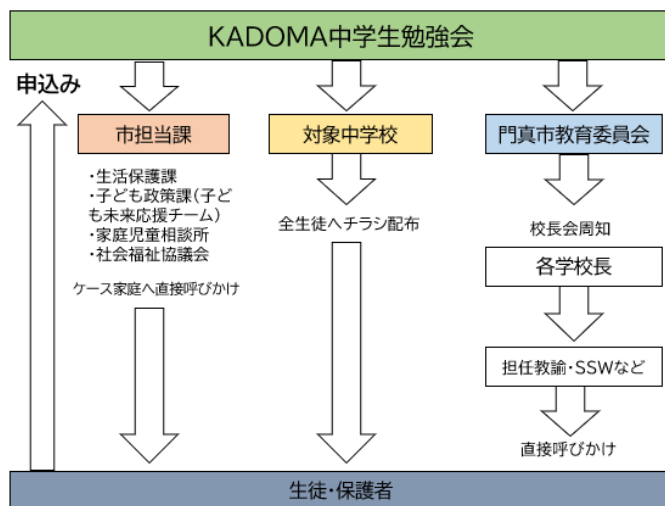
「門真の子どものために」

活動内容
門真市内の中学生を対象に大阪公立大学・関西大学などの大学生がボランティアで個別に学習のお手伝いをします。(大学生1名につき中学生2名程度)
※教材は各自で持参してください(学校のものを可)
※応募される場合は、応募書におさず、QRコードから登録申請書に提出したため、申込みを完了する必要があります。

参加時の持ち物
筆記用具、勉強したいプリントや問題集など

【協賛】一般財団法人チャイルド・ライフ・サポートとくしま・中門真総合法律事務所 他多数
【後援】大阪公立大学法律部 門真市・門真市教育委員会(予定)
【協力】門真市社会福祉協議会・NPO法人イ・ボックス(施設指定管理者)

※なお当事業は、国や自治体からの支援を受けず、地域の皆さまや全国からの遠くからのご参加により活動させていただいております。



※申込時に家庭の経済状況(公的支援の受給状況等)や配慮事項を聞き取り
定員超過の場合は、経済的状況等を総合的に判断し、生徒の参加を決定しています。



応募説明動画(生徒・保護者へ申込時に動画視聴を必須としています)

生徒募集チラシ(令和6年度)

9

◆学習支援員（大学生ボランティア）について

KADOMA 中学生勉強会(居場所・学習支援事業)

学習支援ボランティア募集!!

【募集】この事業に興味・関心のある大学生・大学院生(学力レベル不問)
【対象】中学生への学習指導およびコミュニケーション(P1～P3が対象)
(大学生ボランティア1名に対して生徒1、2名の個別対応。宿題やワークなどの学習指導、生徒とのコミュニケーションなど、学校の授業についていけない、学習の遅れている生徒が大半です。塾のような雰囲気ではありません) 遠近、大学見学、クリスマス会、草所式などイベントもあり。

【日時と場所】
●毎週水曜日(5月下旬より) 19:00～20:30
●毎週日曜日(9月上旬より) 19:30～21:00 ※都合により変更の可能性があります
※京阪電車 吉川駅徒歩5分 門真市民文化会館ミエールホール(門真市北成町 29-1)
【費用】1回あたり1000円 交通費支給あり(上乗せ1800円 ※定額制) 交通費は別途

「学生の方で」 前年同様 令和3年度「未来をつくる若者・アドバイザー」内閣府大臣表彰受賞!
本年7年目を迎えるKADOMA中学生勉強会。この6年間、多くの皆さまのご理解もあり、運営から企画まですべて学生主導で行ってきました。「大学! 入学!」という身近なモデルを生徒たちに見せてあげたい、決して先生と生徒のような上下の関係ではなく「ナマ」の関係で接することによって、生徒たちの居場所にもなります。学生の力で生徒たちの夢や目標に後押しを!!

「どんな家庭に生まれても学べる環境を」
門真市では、「(経済的理由で)学習塾に通うことができなかった」と回答した中学2年生の保護者が20.9%(府平均12.3%)※※門真市子どもの生活実態調査より)や就学援助認定率が30%を超えるなど、厳しい環境にいる子どもたちが多くいます。そんな彼らの学び場・居場所を作りたい。「門真の子どものために」!

【写真】研修の勉強会の様子
大学生が生徒1～2名を個別対応

「誰かのために」
「自分のために」頑張るのは当たり前。でも「誰かのために」頑張るのは、なかなかできることではありません。社会人になれば「誰かのために」活動するのは難しくなります。人生は一度きりです。「誰かのために」頑張ってみませんか。

【後援】大阪公立大学教育後援会・門真市・門真市教育委員会(予定)
【協賛】一般財団法人チャイルド・ライフ・サポートとくしま・中門真総合法律事務所 他多数
【協力】門真市社会福祉協議会・NPO法人イ・ボックス(施設指定管理者)

※なお当事業は、国や自治体からの支援を受けず、地域の皆さまや全国からの遠くからのご参加により活動させていただいております。

【募集へ】

学習支援員募集については、各大学のボランティアセンターや大学教授等を通じて、左のチラシを配布し募集を行いました。また、ボランティア募集サイトの Activo や当会の公式 HP、Twitter 等でも周知を行った。

大学生ボランティアについては、初回申込後に面接（動機の確認等）や現場の見学を行っていただき、参加意向のあった方には研修動画（90分程度）において、門真市の子どもの取り巻く環境や団体の活動方針、生徒への接し方などを学習いただいた上で、生徒へのサポートを実践いただいている。

毎回活動終了後には記録ノートに生徒の様子等を記入いただき、他の大学生でも対応できるよう配慮している。また、2か月に1回程度大学生ボランティアミーティングも行い、生徒への対応での困りごとなどに対して、先輩大学生がアドバイスをを行っている。

登録者：大阪公立大学 10名 同志社大学 4名、関西大学 3名、関西学院大学 3名、京都女子大学 2名、近畿大学 2名、大阪大学、大阪教育大学、和歌山大学、立命館大学、龍谷大学、関西医科大学、大阪大谷大学（各1名）

◆活動の様子及び活動報告について

1) 勉強会の様子

机の真ん中に大学生ボランティアが座り、両端に担当する生徒が着席。

毎回、開始直後に習熟度別に問題プリント（過去問や簡単な計算問題）を配布し、間違った問題などは大学生ボランティアが解説。その後は、生徒が持参した学校の宿題やワーク、テスト問題などを元にサポートを行いました。毎回の活動終了後には、支援者の方から差し入れていただいたお菓子やジュースを配布させていただいた。

土曜日の勉強会では、中3生を対象に9月（部活引退後）から開校。午前中に勉強会を開催し、午後から自習スペースを開放した。年末からは、模擬試験を実施して入試対策を行った。



研修室（水曜日）



会議室（土曜日）

2) イベント行事の開催

生徒たちへの機会の提供および第3の居場所提供を目的に、季節ごとに各種イベント行事も開催。開催にあたっては、運営メンバーの学生たち（大学生ボランティアのリーダー）が中心となって、当日の企画・運営を行い、また支援者の方からもサポートいただき開催した。



ボードゲーム大会（7月）



大学・学園祭見学(11月)



クリスマス会（12月）

3) 活動報告

2か月に1回程度通信号を発行し、支援者等に対してメルマガにて情報発信。また、毎回の活動の様子を公式HPやX（旧 Twitter）Facebook など各 SNS でも報告を行った。



3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

◆中3生全員が高校へ進学

中3生 15 名が高校受験に挑戦し、無事に全員が高校に進学をできた（14 名が第一志望に合格）。参加する前と後で成績の変化について調査をしたところ「成績があがった（すこしあがった含む）」と回答した生徒は 87%（13/15 名）に及び、中学生勉強会での成果が現れた結果となった。

10 月以降は、中3生に対して個別に進路相談（3 回/人）を行い、高校入試に向けて受験校の相談や内申点を確保する方法などをアドバイスした。

◆保護者・生徒満足度 100%（過去初）

大学生ボランティアによる手厚い学習サポートに加え、参考書（問題集）や赤本の無料配布や季節ごとのイベント行事の開催により、保護者・生徒ともに満足度 100%の結果であった。

※保護者「お子様が KADOMA 中学生勉強会に参加して、どのように感じられていますか」

とても満足している（20/25） ある程度満足している（6/25） あまり満足していない/満足していない（0/25）

※生徒「KADOMA 中学生勉強会に参加して楽しかったですか」

とても楽しかった（17/25） まあまあ楽しかった（9/25） どちらでもない/あまり楽しくなかった/楽しくなかった（0/25）

◆学習面以外でも前向きな変化がみられた

1 年間参加した生徒に学習面以外の変化についてアンケートを行ったところ「頑張ればできると思えるようになった」「コミュニケーション能力が上がった」などの回答が上位を占めた。

大学生ボランティアが個別に学習指導をすることで、今まで分からなかった問題ができるようになったこと、他人に尋ねる経験などが学習面以外にも前向きな変化を及ぼしていると考えられる。

※生徒「勉強会に参加して、勉強面以外での変化を教えてください」（複数選択可） M=26

頑張ればできると思えるようになった	15
コミュニケーション能力が上がった	12
自分も誰かの役に立ちたいと思った	12
自分に少し自信がついた	10
悩み事が減った	8
分からない事が恥ずかしいと思わなくなった	7
イライラすることが減った	4
該当なし	1

◆大学生ボランティアによる活動継承（課題・反省点）

活動当初（2018 年）から大学生ボランティアが中心となり活動を継承している。中心となる大学生ボランティアには、学生運営メンバー（教室リーダー・副教室リーダー）を担っていただき、体制を維持しているところであるが、大学卒業に伴い、運営メンバーの入れ替わりもあり、大学生ボランティアの確保だけでなく、中心となる大学生の育成も必要となっている。活動を継続していくためにも、社会人やシニア世代の参加も検討するなど体制維持の方法を模索していきたい。

◆高校生（卒所生）へのサポート（今後への発展性）

これまでも卒所生を対象に自習スペースやイベント行事の参加などのサポートを行ってきたが、中3生にアンケートを行ったところ 73%（11/15）が高校入学後も常時参加したいとの要望があったため、毎週水曜日の活動においても高校生専用のスペースを設けていきたい。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

参加した生徒・保護者・大学生ボランティアのメッセージを一部紹介。

<生徒メッセージ>

「分からない問題があったとしても優しく分かりやすく教えてもらえてとても嬉しかったです！大学生のおかげで問題が解けた時の楽しさを知る事ができたり、1人じゃ諦めていた問題ともしっかりと向き合うことが出来たので良かったです！（中3）」

「わからないところをわかるまで優しく教えてくれたり、勉強についてのアドバイスを教えてくれてありがとうございました。受験が心配みたいな話をしたときには応援してくれたりしてありがとうございました。（中3）」

「大学生の先生のおかげで勉強やコミュニケーションがとれるようになって生活が楽しくなりました。毎週水曜日が楽しみにになりました！ありがとうございます！（中2）」

<保護者メッセージ>

「企業や大学、地域の方々の皆様、毎回ジュースやお菓子、そして赤本参考書、本当に有難うございました。我が家は生活が厳しいので塾にはお金がかけられませんでした。でも息子は家の勉強だけでは受験に追い付かず、自分ひとりでするには限りがあるので、このような機会を作って頂き、たくさんのご支援いただき感謝の気持ちいっぱいです。本当にありがとうございました。代表者の方、大切な企画を有難うございました。（中3保護者）」

「子供達に勉強できる場所、機会を作って下さり、ありがとうございます。毎回のジュースやお菓子、「こんなもらえた」「好きなおやつやった」と喜んでいました。一年を通して楽しいイベントを考えていただいて、普段は見ることのない大学見学など良い経験をさせてもらいました。いつも裏で支えて下さっている皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。（中3保護者）」

<大学生ボランティアメッセージ>

「1年間ご支援頂きまして誠にありがとうございました。私は大学4年間を通して、勉強会に関わらせて頂きました。社会人になるにあたって、勉強会で過ごした時間を振り返って思うのが、皆さまの善意によって成り立っているこの場所がどれほど貴重かということです。誰かのために何かをする、望んでも日常の中では中々できないことですが、ここで一歩踏み出す勇氣と場所を与えて頂きました。活動を支えて頂いた皆さまには本当に感謝しております。社会人になっても、この場所で学んだ一歩踏み出す力をもって、与えられた場所で一隅を照らすべく努力していきます。今後とも、勉強会を支えて頂けますように、何卒よろしくお願いいたします。（大阪公立大学4年）」

「日々全力で頑張っている中学生の姿をそばで見ることで、たくさんの刺激を得ることができました。また、様々な境遇で頑張っている中学生の存在と彼らをサポートしてくれる方々の温かさを知ることができました。中学生勉強会という場所は中学生だけでなく、私たち大学生にとっても第3の居場所であり、成長するきっかけをくれた場所です。このような素晴らしい活動を支えてくださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。私は今年で大学卒業のため、中学生とともに卒所します。皆様からいただいたたくさんの愛や恩を社会に出てから少しでもお返しできるよう、これから頑張ります。最後になりましたが、1年間ご支援いただき、本当にありがとうございました！（関西学院大学4年）」



居場所・学習支援事業
KADOMA 中学生勉強会

すべての子どもたちが
学べる「居場所」を目指して

これまでのご厚情に心から感謝申し上げます

2025.3 大阪公立大学・吉田敦彦教授 ご退官

代表の母校・大阪府立大学(現・大阪公立大学)の吉田敦彦先生が25年3月末でご退官。教育福祉学類教授として、時に学生センター長・副学長として、KADOMA 中学生勉強会の活動を陰に陽にサポートをしてくださいました。団体創設時は大学後援会の助成事業として採択をされ、ゼロからの活動を支えていただきました。また、在学時は学長顕彰に推薦していただき、卒業後も大臣表彰まで導いてくださいました。改めて、教育福祉学類に入学でき、そして吉田先生と出会えたことを幸せに思います。本当にありがとうございました。



2025年3月19日 吉田敦彦先生研究室にて



毎日新聞 吉田先生コラム記事



学長顕彰授与式(2019年3月)



大臣表彰授与式(2021年11月)

〈目次〉

「生徒たちに聞きました」 あなたにとって大学生はどんな存在？

2024 年度の活動を振り返って

保護者から寄せられた声

【特集】卒業の大学生ボランティアへインタビュー

支援者・各団体からのメッセージ

2024 年度収支報告およびご支援の拡がり



📺活動報告動画(71分)※4月中旬収録

さらに詳しい活動の様子は、動画にて説明をしています。よろしければご覧ください。

～年次報告書発行にあたって～

2024 年度も多くの皆さまにご支援をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで7年目の活動も無事に終えることができました。2018 年(当時、大学4年生)に旧門真市立文化会館で、幼馴染とともにスタートした中学生勉強会初日のことを昨日のように思い出します。あれから7年の月日が流れ、活動回数は340 回、参加した生徒数は延べ 9000 名を超えました。そしてこの活動をともに支えてくださった大学生ボランティアは延べ4096名となりました。門真の子どもたちに居場所や学習機会を提供するだけでなく、サポートを受けた生徒たちが大学生となり、門真の子どもたちを支える側として帰ってくる、文化的な循環も生まれてきました。これも長きにわたりご支援をくださっている支援者の皆さまのおかげです、心より感謝申し上げます。

24年度も普段の勉強会活動だけではなく、ボードゲーム大会、夏祭り、遠足、大学の学園祭参加やクリスマス会など生徒たちに様々な体験の機会も提供をすることができ、団体設立当初からの目的でもある「居場所支援」にも力を入れられることができた実感しています。

また、24年度は、参加した生徒たちと個別に面談する機会も多く、率直に生徒らの想いや悩み事、将来の夢などを聞き、少しでもみんなの力になってあげたい、そんな想いをより強くした 1 年でもありました。私自身、府職員としての本業もありながら、皆さまのご理解もあり、仕事との両立も6年が経過をしました。足らずもあるなかで、学生運営メンバーの方々にもお支えいただきました。本当にありがとうございました。

これからも皆さまのお力をお借りしながら、「子どもたちがどんな環境に生まれても学べる「居場所」づくり」に尽力をしていきます。

今後とも、KADOMA 中学生勉強会にご協力をよろしくお願い申し上げます。



イメージキャラクター「はすまる」
中3生が制作

2025 年4月 KADOMA 中学生勉強会 代表 八上 真也



あなたにとって**大学生**はどんな存在 参加した生徒に聞きました

参加した生徒の声 (※2024 年生徒アンケートより)

(中学3年生)

「分からないことを教えてくれる存在で休憩時間に話し相手になってくれる存在」「悩みや不安なことを話せる存在」
 「友達みたいに楽しく過ごせる存在」「頭がいい」「話しやすい先生」「話しやすい人」「頼りになる存在」
 「初めは緊張したけど、仲良くなったらくたくさん話せし、大学のことや知らないことも知れて頼れる先輩のような存在」
 「勉強を教えてもらった大学生のように賢くなるために勉強を頑張りたいなと思える目標の存在」
 「頭良くて憧れ」「普段生活してる中では知ることが出来ない大学の事を教えてくれる存在」
 「勉強をしてくれる人と趣味などを一緒に話す人」「近所のお兄さんお姉さんみたいな感じ」「心の支えになる存在」

(中学2年生、1年生)

「勉強を教えてくれる存在」「接しやすい存在」「楽しく勉強をする」「とても優しい人」
 「悩みを相談できる、勉強を教えてくれる」「話す度にストレスを解消してくれる存在」「信用できる人」
 「勉強をしてくれる人」「私は人見知りだけど優しく話しかけてくれた存在」

KADOMA 中学生勉強会では、団体設立以来「ロールモデルの提供」を掲げて活動を続けてきました。生徒らの言葉1つ、1つがまさにその姿を体現したものになったと考えています。このアンケート項目は初めて実施しましたが、個人的にもこの7年間の思いが凝縮された内容でした。中学生時代に信頼できる大人や憧れのお兄さん、お姉さんと出会えたことは、きっと生徒らの将来に大きな影響を与えるはずです。大学生ボランティアの皆さまの献身的な活動に改めて、深く感謝を申し上げます。

2024 年度の活動を振り返って

募集説明動画を作成

23年度の生徒申込では、定員の約2倍となり、当会が対象としていない生徒(通塾している生徒)などからの申込みもあり、24年度から募集説明動画(以下 QR コード)を作成し、申込みには事前視聴を必須としました。そのため、申込み者は昨年度より減少していますが、ミスマッチを防ぐことができたと考えています。その上で、昨年度に引き続き、申込み時に家庭の困窮状況が見える化できるよう工夫し、より必要としている生徒たちを選定させていただきました。



全13大学31名の大学生

24年度も各大学ボランティアセンターやボランティア募集サイトを通じて、全13大学31名の大学生が活動に参加をしてくださり、毎週15名前後が生徒たちをサポートしてくれました。また、昨年度に続き、かつて生徒として参加していた大学生もボランティアとして帰ってきてくれました。

<参加大学生ボランティア一覧>

大阪公立大学 10 名、同志社大学 4 名、関西大学 3 名、関西学院大学 3 名、京都女子大学 2 名、近畿大学 2 名、大阪大学、大阪教育大学、和歌山大学、立命館大学、龍谷大学、関西医科大学、大阪大谷大学(各 1 名)

中3全員が高校へ進学

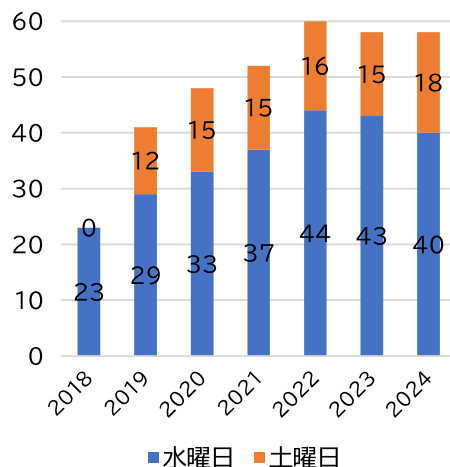
参加した中3生全員が高校入試にチャレンジし、進学先が決められました。中3土曜勉強会では、10回の模擬テストを実施し、進路相談など高校入試に向けたサポートも行いました。入試を乗り越えた力は、将来の大きな糧になると思います。皆さん、よくがんばりました！！

<進学先一覧>

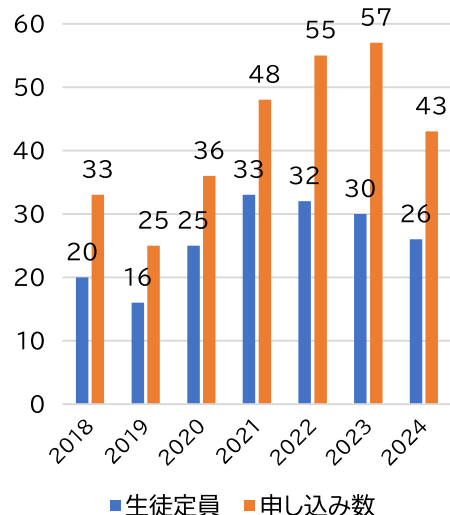
枚方高校、芦間高校、港南造形高校、枚方なぎさ高校、守口東高校、門真西高校、常翔学園高校(特進)、明浄学院高校(看護)、近畿情報(通信)

数字で見る 2024 年度の活動

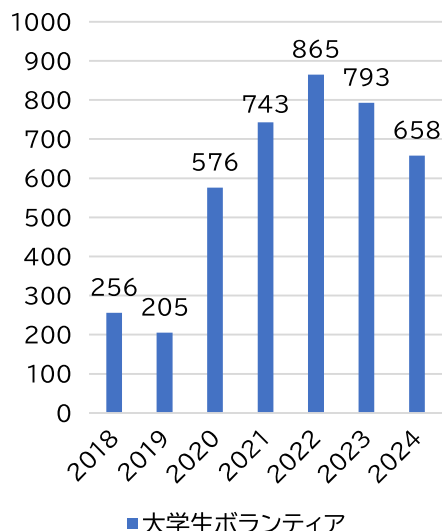
活動回数推移(年間)



生徒定員および申込み数



大学生ボランティア参加者数



<活動概要>

【日程】勉強会&各種イベント(全 58 回)

勉強会:毎週水曜日(5月29日~)19:00~20:30

隔週土曜日(9月7日~)10:30~17:00

イベント:ボードゲーム大会(7/17) 夏祭り(8/7) 遠足(10/19)

大学見学(11/4) クリスマス会(12/25) 卒所式(3/19)

【場所】門真市民文化会館ルミエールホール3F 研修室ほか

※土曜日は、受験を控えた中3のみ対象(部活引退後のため 9 月から実施)
12 時から 17 時まででは模擬試験や自習室開放を行いました

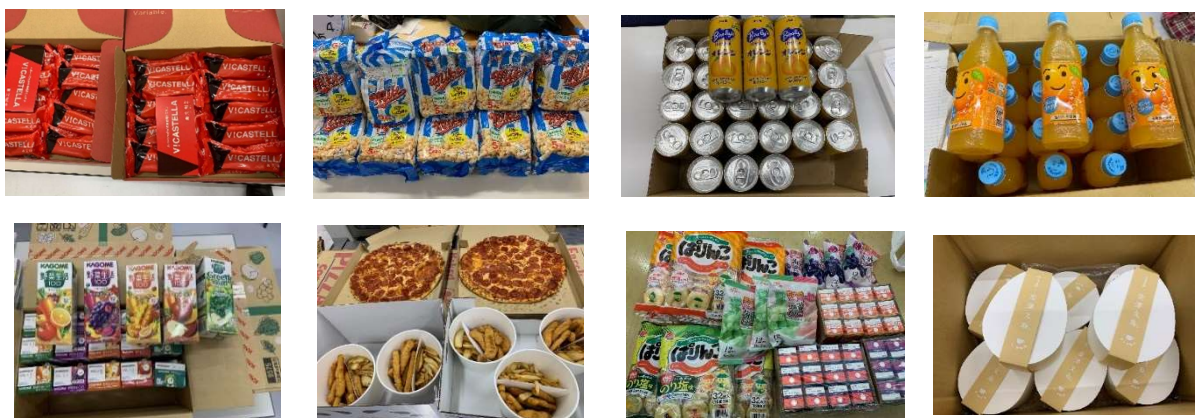
◇各イベントの開催(大学生ボランティアの皆さん、企画ありがとうございました！)



参加した生徒の声 (※2024 生徒アンケートより)

- 「学園祭とか遠足で色んな中学校の人や大学生と仲良くなれる機会があってとても楽しかった(中3)」
- 「プラネタリウムで大学生や普段は話さない友達と仲が深められて楽しかった(中3)」
- 「夏祭り、色んな遊びがあって楽しかった(中3)」 「大学がどんな感じなのか知ることが出来た(中3)」
- 「クリスマス会にみんなで話しながらご飯を食べたり、プレゼントを開封したりすることが印象に残っています(中3)」
- 「クリスマスプレゼントを貰えてうれしかった(中2)」 「夏祭りで友達ができました(中1)」
- 「ボードゲームをしてから仲良くなった人ができたので良かった(中1)」
- 「今まで自分から何かのイベントに参加をしたことがなかったけど、夏祭りやクリスマス会、思ったより楽しめた(中3)」

今年もたくさんの差し入れありがとうございました。



※勉強会では毎回活動終了後に差し入れていただいたお菓子やジュースを生徒らにプレゼントさせていただきました。活動初期の頃は、スーパーに買い出しに行っていました。今ではほとんど行くこともありません。支援の拡がりを実感します。

2025年度の活動においても、お菓子やジュースなどの差し入れ大歓迎です！ 皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

保護者から寄せられた声

※2024保護者アンケートより

経済的な事情で塾に通わせられない我が家のような家庭にとって、本当にありがたかったです。皆様に支えていただいたおかげで息子に勉強をする環境を与えてあげることが出来ました。本当にありがとうございました。(中3保護者)

我が子は、知らない人との関わりや、見知らぬ場所に行ったりする事に抵抗感を抱く子です。でも、志望校の為に、本人なりの決意を持って、通塾を決めました。さらに、有り難い事に、中学生勉強会に入ることができました。勉強会が終わってから持ち帰るお菓子やジュースをととても嬉しそうに、「今日は、これ、くれたあ。」と見せてくれました。皆さんの何でもない関わりが、塾に通うという、しんどさの励みになりました。本当に、一年間、支えて頂きましてどうもありがとうございました。(中3保護者)

勉強会を通じて、子どもは新しい学びを得ることができ、勉強への意欲も高まったようです。代表の八上さんをはじめ、企業や地域の皆様がいつも子どもたちのことを考え、温かく見守ってくださっていることが伝わり、とても心強く感じました。この貴重な経験を大切に、子どもも「もっと頑張ろう!」という気持ちで取り組んでいくと思います。ありがとうございました。(中3保護者)

イベントやプレゼント等の機会を与えて下さりありがとうございます。金銭的に苦しい家庭なので本人が楽しそうにイベントに参加出来たりすることが親としても嬉しく思いました。(中3保護者)

学校での居場所がなかなか見つけれず、だんだんと不登校になり勉強も遅れていく中家にはじっくり勉強できる環境もなく、かといって塾に通わせる経済力もなく悩んでいたところに中学生勉強会のことを教えてもらい参加しました。何か居場所ができれば…少しでも勉強してくれればと思っていましたが、大学生の方に勉強を教えてもらい、話を聞いてもらったことで楽しい!と通ってくれて家でも勉強をするようになりました。学校にも少しずつですが前向きに通っています。KADOMA 中学生勉強会に参加して本当に良かったです。ありがとうございました。(中1保護者)

ご支援いただいた方々のおかげで、ボランティア活動とは思えない手厚い学びの場になっていると思います。勉強だけではなく普段関わりのない大学生の先生達との交流もとても刺激になったと思います。イベントや勉強会の後のご褒美のおやつも塾や学校では味わえない楽しみの一つだったようで本当にありがとうございました。(中3保護者)

子どもたちのために、とても素晴らしい環境、教材、そして楽しみのイベントやお菓子まで、たくさんのご支援を頂き、本当にありがとうございました。毎回楽しみにイベントにも参加させて頂き、なかなか出来ない体験をたくさんさせて頂きました。厳しい世の中で、このような素晴らしい勉強会に兄妹共にお世話になり、本当に感謝しかありません。いろいろな先生と出会い、いろいろな経験をさせて頂き、子どもたちの人生の中で、とても貴重な思い出のひとつになったと思います。本当にありがとうございました。(中3保護者)

イベントや毎回のおやつ、参考書の支給など、感謝の気持ちでいっぱいです。子供にとって勉強会は大事な場所になりました。本当に皆様のご支援のおかげだと思っています。ありがとうございました。(中2保護者)

勉強会に行くまで、家庭学習をしておりましたが、子供自身での勉強は中々難しく、親としても受験生の子供をどうサポート出来るのか、不安に思っていました。学校以外でも、頼れる場所があるという事は、親子共々とても大きな安心になりました。心よりお礼申し上げます。(中3保護者)

水曜日の勉強会だけはいつもちゃんと覚えていて、元気良く出掛け、今日はこのお菓子をもらったと笑顔で帰ってきます。ゲーム大会、クリスマス会、大学学園祭見学イベント等、私たちがしてやれない事を経験させて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。クリスマス会のご馳走は、思いもよらないほどいっぱいあって、すごく沢山食べたと興奮気味に話してくれました。八上さん、大学生ボランティアの方々、支援して下さいっている方々、本当にありがとうございました。(中2保護者)

FutureTalk イベント(大学生から生徒へ伝えたいメッセージ)



当日の様子

7月31日の勉強会後は、初企画として「Future Talk」を開催。カナダのインターナショナルスクールに在籍している学生が留学体験の話を生徒らにしてくれました。お話の一部を紹介。

「留学へ行く前、自分は井の中の蛙だから、広い世界を見たいと思っていた。でも 1 年カナダに居て、色んな国籍や文化、価値観に出会い、井戸はないと分かった。遠い国も全て繋がっていて、一つの海にみんながいる。何事も他人事はダメだなと思った」

今後も「バイト」「大学生活」「入試」「サークル」「将来の夢」など様々な切り口で大学生の経験を伝える機会を設けていきます。



2024年度 活動報告企画 卒業の大学生ボランティアへインタビュー



聞き手は代表の八上



2025年3月19日@卒所式
宮本一孝市長より感謝状を授与

2024年度教室リーダーを務め、25年3月で大学を卒業する
山本康太さん(大阪公立大学)と木原未緒(関西学院大学)さんにインタビュー。
どんな想いで活動に参加し、これまでの思い出や自身の変化などを教えてい
ただきました。※取材日:2025年3月1日(土)
お二人には、「2024KADOMA 中学生勉強会卒所式」にて、門真市長から
感謝状が授与されました。



木原 未緒(きはら みお)さん
守口市出身。関西学院大学商学部。
2022年11月から活動参加、23年度から学生
運営メンバー、24年度教室リーダー。
2025年4月から国家公務員。



山本 康太(やまもと こうた)さん
兵庫県明石市出身。大阪公立大学工学部。
2021年11月から活動参加、22 年度から学生
運営メンバー、23/24 年度教室リーダー。
2025年4月からメーカー勤務。

八上 今日はありがとうございます。初めての企画なの
で上手くいくか不安ですが、現場の様子や大学生ボラン
ティアがどんな想いで活動に参加しているかを聞けたら
と思うので、率直に話をしていただけたらと思います。
早速ですが、お二人は、どんな経緯で活動に参加してい
ただいたんでしょうか。

山本 大学の初年次ゼミ(学部混合1年生対象の授業科
目)があり、そこで、教育福祉学類の森岡先生から紹介
を受けたのがきっかけです。学生主体でやっていると聞
いて、おもしろそうだなと思い応募しました。募集チラシ
の「誰かのために力になれるのは学生のときだけ」との
フレーズも心に響きました。

八上 森岡先生は私が所属していた学部の教授で、そう
やって声をかけてくださるのは本当に有難いです。それ
にしても「学生のときだけ」と書いている本人が働きな
がら活動しているのはちょっと矛盾していますね(笑)木
原さんはどうですか。

木原 コロナ禍で何かコミュニティに入りたいと思っ
ていました。私立の中高に通っていましたが、自分の地域
にもなんとなく経済的にしんどい子がいるのは知って
いて、何か力になりたいと思っていたところ、ネットで調
べていたらたどり着きました。

八上 コロナの時は大学生の応募がすごく多かったん
です。大学生を募集するときにコミュニティという視点は
大事にしないと・・・勉強になりました。お二人は、学生運
営メンバー(大学生ボランティアのリーダー)になってく
れ、まさに縁の下の力持ちとして活動を支えてくれまし
た。なぜだろうと思ってくれたのでしょうか。

山本 勉強会全体に貢献できたらとの思いと、実際にど
んな風に会を運営しているのか興味がありました。

木原 先輩の大学生が温かく歓迎してくれて、こんな大
学生になれるなと思いました。

「門真の子どもたちは、 大人びているように感じた」

八上 山本さん、木原さんの前のリーダーは、小山さん
と南さんですね。生徒にとってのロールモデルは大学生
ですが、大学生にとっても先輩大学生がモデルというの
は良いですね。小山さんや南さんにも感謝しないといけ
ません。ところで、お二人は、門真出身ではないですが、
自分の住んでいる地域の中学生や自身の中学生時代と
比べて、門真の子どもたちとの違いはありましたか。

山本 色んな生徒がいたので、表現は難しいですが、中
学生なのにすごく大人びているなという印象はありまし
た。家での自分の役割や将来どうやってご飯を食べて
いくかを考えている生徒が多かったです。

木原 私も同じことを言おうと思いました。

八上 次の質問は木原さんから当てます(笑)「大人びて
いる」かなるほど。家の事情とかで必然とそうってい
るのかも知れませんね。中学生はまだ13歳、14歳だか
ら間違いなく子どもなんですけど、中学生勉強会では誰
でも子どもで居られる場所を目指さないといけませんね。
これまで、山本さんは3年半、木原さんは2年半、中学生
勉強会の活動に参加をしてくださいましたが、一番思い
出に残ってる出来事はなんでしょうか。

木原 直接言われたわけではないですが、生徒アンケ
ートで「木原さんのおかげでルミエールホールに通うのが
楽しかった」と書いていたのを後から八上さんに見せて
もらい、目に見えて人の役に立っているのが分かった時
はとても嬉しかったです。

八上 「木原さんのおかげで困っていることがなくなっ
たり、勉強が楽しくなって」とも書いていましたね。なか
なか生徒アンケートで大学生の名前が出てくることはな

いので、その生徒にとっては、木原さんの存在がよほど大きかったんだと思います。山本さんはどうですか。

山本 僕はYさんとの思い出です。最初は本当に無気力で、大丈夫かなと思っていましたが、色々話をすると、実はすごく色んなことに興味を持っていました。卒業後も勉強会に来て、家族の世話やバイトを頑張っているとの話を聞き、最初の頃と比べてすごく前向きな気持ちになっているのを知れて嬉しかったです。

八上 ついこの前、バイトをしているお店に行ったんですが、Yさんから「八上さん」と声をかけてくれて、しっかり配膳もレジもしてくれました。笑顔も増えだし、クリスマス会や卒所式も必ず来てくれてますね。お二人とも、色んな生徒の出会いがあったと思いますが、接する上で大事にしていたことはありますか。

木原 生徒から話をしたくなるまで「待つ」ことは大事にしていました。あとは何を言っても否定せずに味方だという姿勢で接していました。

山本 自然体で接するよう心がけていました。話してくれたことに共感する姿勢も大事にしていました。

八上 共に大事な視点ですね。回数を重ねるとどうしても生徒と仲良くなって、忘れてしまいがちですが、対人支援の基本、これはこれから参加する大学生にもしっかり伝えていきます。少し話が変わりますが、お二人ご自身にとって、活動に参加しての変化や気づきなどがあれば教えてください。

「学ぶことができる環境は 当たり前でないことを知った」

山本 自分自身はこれまで当然のように勉強をして、学習できる環境が整っていました。でも、勉強会で生徒と出会い、家庭のことなど背景を知り、学ぶ環境が当たり前でないことに気づかされました。また、運営側に携わったことで、すごく多くの方がこの会に関わっていることを知りました。そこで、自分が何をすべきかを集団の中で考える訓練になったと思います。

木原 大学は福祉系ではなかったのですが、教育や福祉に対する課題は見えていなかったけど、それらの問題に関心を持つようになりました。はじめの頃とくらべて、コミュニケーション能力がついたと思いますし、運営メンバーをしたことで周りをみる力もついたと思います。

八上 長く参加して下さったからこそ分かる部分だと思います。私も学生時代に東淀川区でボランティアをしていて気づいたことですが、心理面や対人面の安定があって、はじめて学習ができる。学習できることはすごいことだと。だからこそ、中学生勉強会ではまず「居場所」を大事にしています。さて、お二人は4月から社会人になられ、中学生勉強会での経験が少しでも活かしてくれたらと願っていますが、社会人として大切にしておきたいことはありますか。面接みたいですわね(笑)

山本 会社のために正しいのか、社会のために正しいのか、それを常に考えられるようにしたいと思います。

中学生勉強会はまさに「ゼロ」からはじめられて、それでもこれだけの人が善意で協力をしてくださっている。利潤と社会正義は一致しないかもしれませんが、その姿をみていると、何でも前向きに、できないことはないと思わせてくれます。

木原 中学生からたくさんのエネルギーもらい、自分の好きなことや純粋な想いを忘れていたことに気づきました。4月から不安ですが、好奇心や自分の好きなことは大切にしたいと思います。

八上 私も6年前の今ごろ、すごく不安で社会人できるのか心配でした。特に1年目は自分の無力感とか、色んな壁にぶち当たるかもしれませんが、あまり気負いすぎず、毎朝出勤するだけで十分だと思って(笑)頑張ってください。しんどくなったら、いつでも中学生勉強会に来てください。それでは最後に、団体へのメッセージをいただけたらと思います。

「こんな素敵な環境は他にない 続いているのが奇跡だと思う」

山本 とにかく続けてほしいと思います。卒業してからも何らかの形で関わり続けたいと思います。

木原 こんなに場所、時間、ものを提供してくれる所はほかにないと思います。素敵な環境を、ここまで続けられているのは奇跡だと思います。なので、私も続けてほしいというのが一番の願いです。大学生にとっても温かく、自身も成長できる場所だと思うので、続けてボランティアしてほしいなと思います。

八上 ありがとうございます。かつて運営メンバーをしてくれた先輩大学生の小山さんや南さんからバトンを受け取っていただき、そして、また次のメンバーにしっかり受け渡して下さり、もう感謝しかありません。皆さんのおかげでここまで続けてこれましたので、またもう1年頑張りたいと思います。それでは、せっくなので、私からお二人にメッセージです。山本さんは、1歩先、2歩先のことを考える力が高く、代表としてはとても助けられました。私も大学生と年齢が開き、なかなか全員に直接声をかけられないこともあるのですが、山本さんが間に入って伝えてくれたり、すごく有難かったです。先を見抜く力、これからも大切にいただけたらと思います。木原さんは、最初の頃はすごく控えめでしたが、2年半参加されて、ご自身でもおっしゃっていたように、コミュニケーション能力が上がったと思います。運営メンバーとして参加されてからは、的確な意見も伝えてくれるようになり、いつも「そうだな」と感心していました。木原さんの考え方は間違っていないので、社会に出ても臆せず自分の意見を出してってください。お二人とも今日はありがとうございました！



支援者・各団体からのメッセージ

※2024 卒所式パンフレットより

全メッセージは右記の QR
コードから閲覧できます！
(卒所式パンフレット)



KADOMA 中学生勉強会に参加した生徒の皆さん、ご卒所おめでとうございます。

皆さんが勉強会で一生懸命に学び、最後までじっくり取り組んできた努力はとても素晴らしいことと思います。大学生の方や仲間と過ごした時間は、きっと皆さんの成長に大きく貢献したことでしょう。「学ぶ」ことはこれからも続いていきます。ここで学んだことや経験は、皆さんの今後の人生において大きな財産となるはずです。この経験を胸に、次のステージでも挑戦を恐れず、自分の可能性を信じて頑張ってください。皆さんの未来が輝かしいものになることを心より願っています。

大学生のボランティアの皆さん、学業など日々忙しくされている中、門真市の生徒のために学習支援等にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。皆さんの熱心なご指導のおかげで、生徒たちは学力向上だけでなく、勉強に対する前向きな姿勢なども身に着けることができたことと思います。また、生徒たちにとって、皆さんは身近なロールモデルの一人となり、将来の自分像に影響を与えたことでしょう。大学生の皆さんもぜひ KADOMA 中学生勉強会での経験を今後活かしてほしいと願っております。

最後になりましたが、開始期よりこれまで一貫して活動してこられた八上真也氏に心より敬意を表します。これからも KADOMA 中学生勉強会の活動を通して、多くの皆さんが成長していくことを期待しております。

門真市教育委員会

この度は、KADOMA 中学生勉強会を卒所し、新たな一步を踏み出すことを心からお祝い申し上げます。あなたたちがこの1年間で学び、経験し、友人たちや隣で寄り添ってくれた大学生と築いた思い出は、これからの人生においてかけがえのない宝物となることでしょう。KADOMA 中学生勉強会では、楽しい瞬間もあれば、時には困難なこともあったかもしれませんが、沢山の方の支えを受けながらも、自分自身の力で乗り越えてきたことは、あなたたちの大きな成長を物語っています。最後まで諦めずに努力したその姿勢は、これからの学びや人生において大きな力となるはずです。

ここで得た経験は、学問の知識だけでなく、困難を乗り越える勇気や仲間と共に成長する力、そして何より自分自身を信じる力を育んでくれました。これからも、あなたたち一人一人がさらなる成長を遂げることを心から期待しています。

公益財団法人樫の芽会 事務局長 山北岳史

門真出身者として、一言メッセージを述べさせていただきます。

振り返ってみれば、大変なこともたくさんあったかと思いますが、ここまで頑張ってくれました。素晴らしいと思います。今後の自信に繋げてください。そして、頑張った自分を褒めてあげてください。自信をもって、高校生活を過ごしてください。勉強会の皆さんは、大学生ボランティアから、勉強を教えてもらうだけでなく、大学における学生生活・季節の行事・様々な文化等、勉強以外のことも学び、貴重な体験ができました。無意識のうちに、皆さんの今後の糧になっています。是非、今後の学生生活に活かしてください。

私の願いを少し述べさせていただきますと、

人生の先輩である大学生から中学生への優しさの連鎖、この素敵な取組を、永遠に継続していただきたい、そう願っています。

私も微力ながら門真出身者として支援を継続させていただきます。

守口門真総合法律事務所 所長弁護士 村上和也

大学生ボランティアの皆さま、この1年間も大変お疲れ様でした。「体験格差」という言葉が広がりつつありますが、子どもたちが学力だけでなく、文化的資本、社会関係資本を得ていくことは、子どもたちの将来に大切なことだと思います。学習支援に加えて、クリスマス会のようなイベントを企画運営していくためには、日頃から地道な準備・努力を積み重ねてられていると感じています。子どもたちのために本当にありがとうございます。

大阪歯科大学 医療保健学部 高井裕二

卒所生に奨学チャレンジ応援金(給付型奨学金)を給付

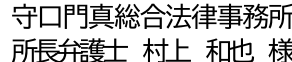


皆さまからのご支援を活用させていただき、卒所した高校3年生に模擬試験の費用、大学入試の受験料に対して団体独自の給付型奨学金を支給しました。(無事、大学に合格でき、ボランティアの登録もしてくれています！)

また参加した中学生全員に参考書(問題集)、中3生全員に赤本(公立入試過去問)もプレゼントさせていただきました。これからも、門真の子どもが学びを諦めないようにサポートを続けていきます。

2024 年度収支報告および支援の拡がり

2024 年度ご協賛いただいた団体・個人一覧



株式会社ビザスク
弁護士 平野 悠之介 様

晋真会ペリタス病院
副院長 辻本 充 様

大阪歯科大学医療保健学部
高井 裕二 様

大阪明星学園
教諭 茨木 曜 様

佃 啓史 様

元大学生ボランティア

他匿名希望 様(15名)

[後援団体]門真市・門真市教育委員会

[協力団体]門真市社会福祉協議会・NPO 法人トイボックス(施設指定管理者)

2024年度 KADOMA中学生勉強会
収支報告書(概要版) ※2024年4月1日～2025年3月29日

収入	居場所・学習支援事業	奨学応援金事業	その他	備考
前年度繰越	600,131	58,146	170,000	
チャイルドライフサポートとくしま	500,000			助成期間:4月1日～12月31日
椋の芽会	500,000			助成期間:7月1日～3月31日
ご寄附 (寄付フォーム含む)	728,430			
講演料			50,000	
合計	2,328,561	58,146	220,000	

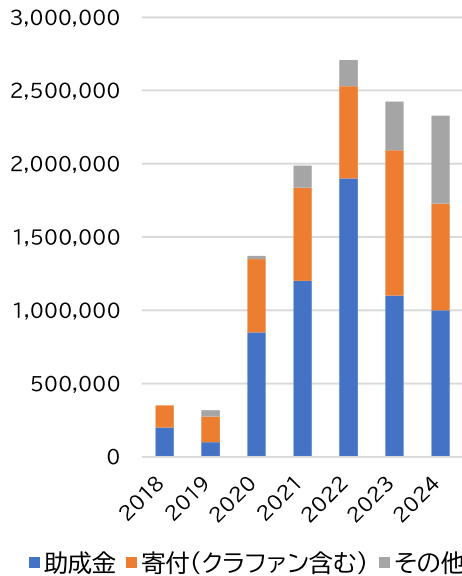
支出(全体)	居場所・学習支援事業	奨学応援金事業	その他	備考
謝金	730,000			大学生ボランティア謝礼(1000円/回) 大学生運営メンバー管理費(500円/回)
旅費	359,110		25,800	ボランティア交通費(実費上限1800円) 遠足・大学見学交通費
福利厚生費	207,141		1,470	遠足、大学見学 夏祭り、クリスマス会、卒所式費用
備品購入費	75,109	33,000		参考書・赤本プレゼント・受験料補助
消耗品費	28,970			インク、クリアファイル、封筒、コピー用紙
借料損料	171,239			施設使用料、レンタカー代 コワーキングスペース・フォーム使用料
印刷製本費	117,812			年次報告書、募集チラシ、模擬試験印刷代
通信運搬費	15,685			郵送料、専用電話代
雑役務費	20,870			振り込み手数料
合計	1,725,936	33,000	27,270	
差し引き残高	602,625	25,146	192,730	

なお、各事業の差し引き残高は、令和7年度(2025年度)へ繰越いたします。

上記のとおり報告いたします。

令和7年3月29日 KADOMA中学生勉強会

活動資金推移



2024年度も助成団体をはじめ、多くの皆さまにご協賛をいただいたおかげで、活動に集中することができました。心より感謝申し上げます。例年よりも大学生ボランティアの参加が少なかったこともあり、次年度に多くの繰越も残せました。引き続き、皆さまからの温かいご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

<ご寄附のお願い>

KADOMA 中学生勉強会では、2018 年の活動開始以来、国や自治体などからの公的な支援を受けず、活動を続けてきました。民間団体の助成金やクラウドファンディングなど、地域の皆さまや全国からの温かいご支援によって、これまで7年、活動を継続することができました。心から御礼を申し上げます。当活動の継続、そして「門真の子どもたちがどんな環境に生まれても学べる「居場所」を創るためには、みなさまからの応援が欠かせません。どうか皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄附窓口(ゆうちょ銀行)

- ゆうちょ銀行からのご寄附 ゆうちょ銀行 記号:14030 番号:69130821 名前:カドマベンキョウカイ
- ゆうちょ銀行以外からのご寄附 ゆうちょ銀行 店名・店番:四〇八 普通 番号:6913082 名前:カドマベンキョウカイ



発行 KADOMA 中学生勉強会
(文責:代表 八上 真也)

発行日 2025 年4月

